



6月定例県議会

福岡県議会の6月定例議会が6月5日から22日までの日程で開かれました。

廃屋の防犯・防災に対策を

高橋雅成議員は、一般質問で空き家、空き店舗、廃屋などの防犯・防災対策を求めました。近年、空き家や空き店舗が犯罪の現場となったり、放火により近隣の民家が類焼するなどの被害が多く起こっています。このため高橋議員は、空き家などに対し、行政、警察、教育庁が連携し必要な対策を講じるよう求めました。

これに対し麻生知事は「地域での監視体制の整備を働きかける」と答弁。森山教育長は「安全パトロールなどを学校から地域に働きかける」と答えました。また殿川警察本部長は「防犯上問題がある空き家について未然防止を図っていく」と積極的な答弁をしました。

肺炎ワクチンの普及求む

また、高橋議員は、日本人の死亡原因の第4位を占め、特にお年寄りの死亡率が高い肺炎について、諸外国で効力が認知されているワクチンの存在を指摘し、ワクチンの普及で肺炎による死亡を減らすべきだと主張しました。麻生知事は、有効性、安全性の国のデータが少ないとの認識を示し積極的な答弁を避けました。

浸水対策の切り札

山王公園下に雨水調整池

浸水対策の切り札として、このほど博多区の山王公園に「山王雨水調整池」が誕生し、高橋県議のほか、市木潔、石田正明、川辺敦子の各福岡市議が視察しました。平成11年、同15年の浸水被害に対応したもので、野球場を約1・8メートル掘り下げ雨水を貯める1号調整池（貯留量約1万3千立方メートル）とグラウンド地下に新設した2号調整池（同約1万5千立方メートル）の2カ所。御笠川本体の改修も県が進めており、調整池や下水施設の整備と合わせて浸水禍を防げるものと期待されています。



山王野球場を掘り下げた1号調整池を視察する(左から1人おいて)高橋、市木、川辺、石田の各氏

木庭健太郎氏



公明 参院選、統一選で公認を発表

公明党は明年夏の参院選比例区に現職の木庭健太郎氏ら7人を、選挙区に現職の5人を公認しました。また、明年4月の統一選のうち、福岡県議選（博多区）に現職の高橋雅成氏を、福岡市議選（博多区）に現職の市木潔、石田正明両氏を公認しました。



不登校、発達障害で先進地を視察

子どもたちの健全な育成を願い、公明党福岡県議団は、このほど、不登校児童・生徒が通う東京・八王子市の市立高尾山学園と、神奈川県が発達障害支援センター、強度行動障害者の療育・支援施設「弘済学園」をそれぞれ視察しました。

高尾山学園

さまざまな理由で学校に行けない、行かない小中学生が安心して通える学校として平成16年4月に開校。スクールカウンセラーを中心とした相談体制や機能を充実させ、他の学校にはない体験講座も実施しています。



高尾山学園で運動する生徒たち

弘済学園

知的障害、自閉症児者のための総合的リハビリテーション施設である弘済学園（神奈川県秦野市）は、社会復帰に至るまでの一貫した療育・支援体系を整えています。入所者の一人ひとりに適したプログラムを実施し、ともすれば暗くなりがちなこの種の施設で、入所者の落ち着いた明るい笑顔が印象に残りました。

発達障害支援センター

神奈川県は、自閉症などの発達障害が原因で生活上の支援を必要とする本人と家族のため、支援センター「かながわA」と「中井やまゆり園」を運営しています。また、両施設を中心に、発達障害者をサポートするためのネットワークの充実を図っています。



中井やまゆり園を視察する議員

移動知事室に同行

麻生知事の「移動知事室」がこのほど、博多区で開かれ、高橋議員が同行しました。この日は春住校区の自主防災組織や子育て応援登録をしている五十川保育園（写真）銀天町商店街の「そよかぜ倶楽部」などを訪問し、意見交換しました。

